

①教員養成の理念・目標に関すること

中国学園全体の養成理念・目標

中国学園大学は、教育基本法および学校教育法の規定および本学園の「自律創世」の教学理念に基づき、地域との連携を取りながら、豊かな人間性と専門的能力を備えた社会人を養成することを目的としています。

また、中国短期大学は深く専門の学芸を教授研究し、職業又は实际生活に必要な能力を育成するとともに、地域の文化および福祉の向上ならびに産業の振興に寄与することを目的としています。

中国学園大学

【現代生活学部人間栄養学科】

<栄養教諭一種免許状>

現代生活学部は、現代および将来の生活に必要な知識と技術を創造し、これを社会へ提供しながら、自主性に富む人格を育成することを目的としています。

人間栄養学科は、人の栄養に関わる新しい知識と技能を創造し、人の健全な食生活について企画・管理・指導できる管理栄養士を養成することを目標としています。

この教育目標に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げています。

常に人の栄養に関わる新しい知識と技能を基にして、人の健全な食生活について指導できる教員の養成を目指しています。

【子ども学部子ども学科】

<幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状>

子ども学部は、子ども学の研究を通して現代社会における子ども支援に多面的に貢献できる人材の育成を目的としています。

子ども学科は、地域との連携の中で深い子ども理解を基礎として、子どもの文化・社会の向上と子どもの保育・教育の発展に資する実践的能力を涵養することを目標としています。

この教育目標に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げています。

幼稚園教諭一種免許状に関しては、幼稚園教諭としての教育に関する学識と技術を身につけるだけでなく、乳幼児の保育に関する教養と技術を身につけた教員の養成を目指しています。

小学校教諭一種免許状に関しては、基礎学力の養成に対して高い指導力を有する教員の養成を目指しています。

【現代生活学研究科人間栄養学専攻】

＜栄養教諭専修免許状＞

現代生活学研究科は、現代の生活に係わる専門分野の深い学識と優れた技能を有する高度専門職業人を育成することを目的としています。

人間栄養学専攻は、人間栄養学の発展に必要とされる新しい知見と技能を創造し、栄養学の高度専門職業人を養成することを目的としています。

この教育目標に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げています。

基本的には栄養教諭一種免許状の考え方を引き継いだ上で、栄養学に関するより高度かつ専門的な学識と技能を修得した教員の養成を目指しています。

【子ども学研究科子ども学専攻】

＜幼稚園教諭専修免許状・小学校教諭専修免許状＞

子ども学研究科は、ディプロマポリシーに示されているように、子どもに関わる様々な課題にアプローチし、提言を行っていくことのできる高度な専門性と倫理観を備えた教員を育成することを目的としています。

この目的に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げています。

1 幼稚園教諭専修免許状の目標

- (1) 保育・幼児教育分野での高度な専門性の獲得：院生が幼児期の保育・教育に関する高度な専門知識と技能を習得し、幼稚園教諭としての資質を高めます。
- (2) 保育・幼児教育実践の課題解決とイノベーション：保育・幼児教育の現場での課題解決や新たなイノベーションをもたらす提案ができる能力を育成します。
- (3) 保育・幼児教育研究における倫理観と社会的責任：院生が研究活動における倫理的な問題や社会的責任を理解し、倫理観に基づいた保育・幼児教育研究を展開する能力を養成します。
- (4) 保育・教育研究の深化と実践への応用：院生が保育・教育に関する最新の研究成果を理解し、実践に役立てる能力を磨き、研究を通じて保育・幼児教育の質の向上に貢献する力を育成します。

2 小学校教諭専修免許状の目標

- (1) 小学校教育分野での高度な専門性の獲得：院生が小学校教育に関する高度な専門知識と技能を習得し、小学校教諭としての資質を高めます。
- (2) 小学校教育実践の課題解決とイノベーション：小学校教育の現場での課題解決や新たなイノベーションをもたらす提案ができる能力を育成します。

- (3) 小学校教育研究における倫理観と社会的責任：院生が研究活動における倫理的な問題や社会的責任を理解し、倫理観に基づいた教育研究を展開する能力を養成します。
- (4) 教育研究の深化と実践への応用：院生が教育に関する最新の研究成果を理解し、実践に役立てる能力を磨き、研究を通じて小学校教育の質の向上に貢献する力を育成します。

中国短期大学

【保育学科】

＜幼稚園教諭二種免許状＞

保育学科は、乳幼児の保育・教育の教育研究を通じ、専門知識ならびに技能の習得を図り、保育・教育現場において、一人ひとりの乳幼児にあわせた指導のできる保育者として寄与できる人材の育成を目的としています。

この教育目標に基づいて、教員養成の目標を次のように掲げています。

単に知識と技術の習得だけではなく、乳幼児期が人格形成のうえで最も重要な時期であることを考慮し、一人ひとりの乳幼児に合わせた指導のできる保育者の養成を目指しています。